

SHARP[®]

AQUOS R9 pro
SH-M30

取扱説明書 詳細版

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ クイックスタート(本体付属品)

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。

■ 取扱説明書 詳細版(本書)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

次のサイトでダウンロード

https://k-tai.sharp.co.jp/support/other/r9-pro_simfree/manual/index.html

※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書においては、「SH-M30」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書はホームアプリが「AQUOS Home」の場合で説明していません。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。

目次

取扱説明書について.....	H2
----------------	----

注意事項

取り扱い上のご注意.....	3
内蔵電池の交換について.....	5
リサイクルについて.....	5
防水／防塵性能.....	6

ご使用前の準備

SIMについて.....	12
充電.....	14
電源を入れる／切る.....	16
初期設定.....	17
本端末で利用する暗証番号について.....	18

基本操作

基本操作.....	20
画面表示／アイコン.....	21

ホーム画面

ホーム切替.....	24
AQUOS Home.....	25

電話／連絡帳

電話について.....	28
電話をかける.....	28
電話を受ける.....	31
通話中の操作.....	32
通話履歴.....	33
電話アシスタント.....	34
通話設定.....	35
連絡帳.....	36

カメラ／フォト

カメラについて.....	40
フォト.....	51

本体設定

設定メニュー.....	53
デバイス情報.....	54
お困りのときは.....	54

データ通信

Bluetooth®機能.....	56
NFC通信.....	57

付録

トラブルシューティング(FAQ)	58
システム アップデート	65
保証とアフターサービス	67
主な仕様	68
携帯電話機の電波防護への適合性について	69
CAUTION	75
輸出管理規制	76
知的財産権について	76

注意事項

取り扱い上のご注意

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。
ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[デバイス情報]▶[規制ラベル]
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ XX:変調方式がその他の方式であることを示します。
- ④ 8:想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■■■:2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

- 本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 6GHz機器使用上の注意事項

6GHzの周波数帯においては、5925MHzから6425MHzまで使用することができます。

6GHzの送信電力クラスはLPI(Low Power Indoor)とVLP(Very Low Power)に対応しています。

6GHz帯無線LAN(LPIモード)の屋外利用は法律で禁止されています。ただし、6GHzテザリング(VLPモード)やVLPモードのAPに接続する場合は利用が可能です。

超広帯域無線(UWB)についてのお願い

● 飛行機や船での移動中など、超広帯域無線(UWB)の使用が禁止されている場所や地域では、機内モードを設定するなどして超広帯域無線(UWB)をOFFにする必要があります。

- 機内モードの設定: ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[機内モード]をONにする
- 超広帯域無線(UWB)のみ停止: ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[接続設定]▶[接続の詳細設定]▶[超広帯域無線(UWB)]をOFFにする

※ ご使用になる国・地域によって、超広帯域無線(UWB無線)の利用制限が異なります。その国・地域の法規制など、利用制限をあらかじめご確認ください。

GPS/ナビについて

現在地の正確な位置測定のため、スマートフォンが自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得する機能(当該機能のサービス提供者にデータが送信されます)が搭載されており、アシストデータの取得にパケット通信料がかかる場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。使用状況や動作環境によって異なりますが、充電を繰り返すうちに劣化します。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは新しい内蔵電池と交換する必要があります。

本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」まで、ご相談ください。



Li-ion00

■ 本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前に「すべてのデータを消去(初期設定にリセット)」を行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください。

防水／防塵性能

SH-M30は、nanoSIMカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有していません。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-M30が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(※P.10「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。
 - 常温の水道水以外の液体(温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。
故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.10「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。
風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。
 - 急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。
故障の原因となります。

- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、通話、データ通信ができない場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
 - nanoSIMカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
 - 防水／防塵性能を維持するため、nanoSIMカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

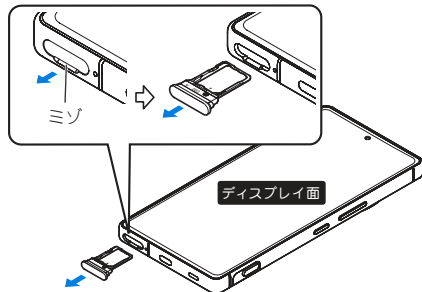
■ nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた

- 端末は手でしっかり持ってください。

取り外すとき

1 ディ스플레이面を上向きにして、下面左よりにあるミゾに指の先をかけ、nanoSIMカードトレイを本体から引き出す

- nanoSIMカードトレイは、ゆっくりと水平に引き出してください。強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。

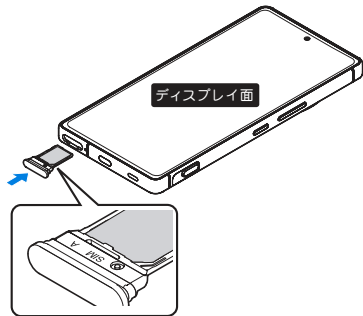


- nanoSIMカードトレイを引き出す際は、nanoSIMカードを落とさないようにご注意ください。

取り付けるとき

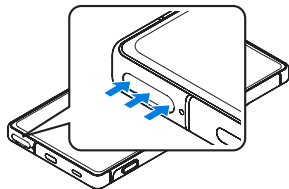
1 ディ스플레이面を上向きにして、nanoSIMカードトレイを本体の下面左よりに差し込む

- nanoSIMカードトレイは「SIM」の刻印を上向きにして、ゆっくりと水平に奥まで差し込んでください。
- nanoSIMカードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、nanoSIMカードトレイが破損する恐れがあります。



2 nanoSIMカードトレイをしっかりと押し、本体との間にすき間がないことを確認する

- nanoSIMカードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水/防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、nanoSIMカードトレイの開閉はしないでください。
- nanoSIMカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- nanoSIMカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- nanoSIMカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水/防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- nanoSIMカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6L/分を超える)を直接当てないでください。SH-M30はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃~35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。

- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水やプールの水には浸けないでください。
- 砂/泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水/防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口/マイク、受話口/スピーカー、マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口/マイク、受話口/スピーカー、マイク、スピーカー、USB Type-C接続端子などを先の尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態で外部接続機器を挿さないでください。故障の原因となります。
- 指定のACアダプター(別売)や付属のクイックスイッチアダプター(試供品)は防水/防塵性能を有していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

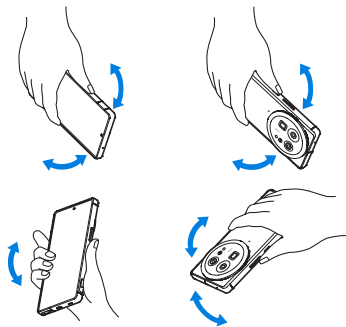
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

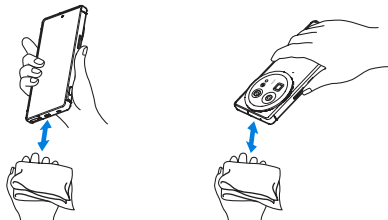


送話口／マイク、スピーカーの水抜きのために送話口／マイク、スピーカーを下にして振る

受話口／スピーカー、マイクの水抜きのために受話口／スピーカー、マイクを下にして振る

3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、マイク、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、空気抜き部(カメラ飾り)などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいたることがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

ご使用前の準備

SIMについて

本端末はeSIM(ダウンロード型SIM)とnanoSIMカードに対応しています。モバイルデータ通信や音声通話発信、SMSの送信などの操作にどちらのSIMを使うかを選択できます。

- 日本国内では、通話可能なSIMを使用していない場合は緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- SIMには、PINコードという暗証番号があります(※P.18「PINコード」)。

nanoSIMカード

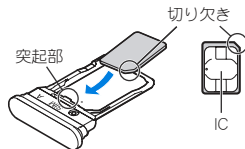
nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

■ 取り付けかた

- nanoSIMカードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカードトレイの取り外し/取り付けかた」(※P.7)をご参照ください。
- nanoSIMカードは必ずnanoSIMカードトレイに取り付けてから本体に差し込んでください。

- 1 nanoSIMカードトレイを本体から取り外す
- 2 nanoSIMカードのIC面を下向きにして、nanoSIMカードトレイの突起部に押し当てながら取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- nanoSIMカードは、nanoSIMカードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



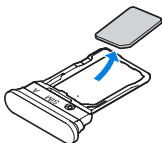
- 3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.7)をご参照ください。

1 nanoSIMカードトレイを本体から取り外す

2 nanoSIMカードをnanoSIMカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカードトレイを本体に取り付ける

- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとして、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

IMEI情報(端末識別番号)について

- nanoSIMカードトレイにIMEI情報が刻印されています。付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」にお問い合わせいただく際に、IMEI情報が必要となる場合にご確認ください。
- 本端末を操作してIMEIを確認することもできます。
ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[デバイス情報]▶[IMEI(SIM スロット 1)]/[IMEI(SIM スロット 2)]

eSIM

本端末は、お客様の電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。eSIMのご利用には設定が必要です。

■ eSIMのSIM情報を設定する

はじめてeSIMを利用するときは、通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定する必要があります。

- eSIMの追加に必要な情報については、eSIMの提供元までお問い合わせください。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[SIM]

- nanoSIMカードを取り付けまたは、eSIM情報の設定を既に行っている場合、[SIMの追加]をタップしてください。

2 [eSIMを設定]／[他のデバイスからSIMを移行する]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

- お客様ご自身で、eSIMに登録されたデータは、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、次のサイトをご覧ください。
https://k-tai.sharp.co.jp/support/other/r9-pro_simfree/index.html

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.68「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます（通電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます）。
- 充電中にロック画面や設定画面に表示される充電完了までの時間は、目安です。
- 充電完了後、ACアダプター（別売）を長時間挿したままにしたり、ワイヤレスチャージャー（市販品）に置いたままにすると、充電量が減少します。この場合、ACアダプターやワイヤレスチャージャーから再び充電を行います。ACアダプターやDCアダプター、ワイヤレスチャージャーから端末を取り外すタイミングによっては、内蔵電池が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 本端末の温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。ただし、ワイヤレスチャージャーによっては、充電時温度が下がっても自動的に充電を再開しないものがあります。本端末の温度が下がったあと、ワイヤレスチャージャーからいったん離して、やり直してください。

ACアダプターで充電

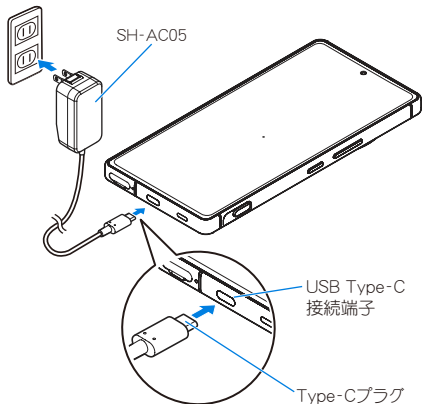
必ず利用するACアダプターの取扱説明書を参照してください。

- 次の操作はACアダプター SH-AC05（別売）を使用して説明しています。

1 ACアダプターの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

2 ACアダプターのUSB Type-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む



- ### 3 充電が完了したら、USB Type-Cプラグを端末のUSB Type-C接続端子から水平に抜く
- ### 4 電源プラグをコンセントから抜く

ワイヤレスチャージャーで充電

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。

■ ワイヤレス充電時のご注意

- 充電時は、本端末のワイヤレス充電位置とワイヤレスチャージャーの位置を正しく合わせてください。ワイヤレス充電位置は付属のクイックスタートに記載の「各部の名称と機能」をご参照ください。
- 本端末にカバー（市販品）などを取り付けている場合は、取り外してから充電してください。
- 充電中は、設定などで本端末が振動しないようにしてください。振動により本端末が動くと、充電が完了しなかったり、落下したりする恐れがあります。
- 充電中にテレビやラジオから雑音が聞こえる場合は、テレビやラジオから離れた場所で充電してください。
- 周辺に他の無接点充電対応機器がある場合は、30cm以上離してください。本端末が正しく検出されず、充電ができない場合があります。
- 充電中は通話やデータ通信、テレビの受信状態が悪くなることがあります。
- 本端末とワイヤレスチャージャーの間に金属の異物が入らないようにご注意ください。異物が発熱する恐れがあります。
- 本端末とワイヤレスチャージャーの間にICカードなどを挟まないでください。ICカードが故障する恐れがあります。
- 充電中にカメラを使用すると、画像にノイズが入る場合があります。
- 本端末の動作状況により、本端末の温度上昇を避けるために、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSB Type-Cケーブル（市販品）などで接続すると、端末を充電することができます。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 (電源キー) (3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときは初期設定を行ってください（[P.17](#)「初期設定」）。

■ 電源を切る


1 (電源キー) + (+)


- 電源メニューが表示されます。

2 [電源を切る]

- [再起動]をタッチすると、本端末の電源が切れたあと、自動的に起動します。

■ 画面を点灯／消灯する

 (電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、画面が消灯します。

画面が消灯しているときに  (電源キー)を押すと、画面が点灯します。

■ 画面ロックを解除する

画面を点灯すると、ロック画面が表示されます。

- [🔒]が表示されている場合:画面を上にはスワイプすると、画面ロックが解除されます。
- [🔒]が表示されている場合:画面を上にはスワイプして[画面ロック]で設定したパスワードなどを入力すると、画面ロックが解除されます。



ロック画面

初期設定

はじめて端末の電源を入れたとき、出荷時リセットを実行後は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - ご利用の通信事業者によっては、表示される項目が異なる場合があります。
 - 言語の設定
 - [視覚補助]をタッチすると、視覚に関するユーザー補助機能を利用できます。
 - モバイルデータ通信に使用するSIMの選択※1
 - 音声通話の発信に使用するSIMの設定※1
 - SMSの送信に使用するSIMの選択※1
 - ネットワークの選択
 - アプリとデータのコピー※2
 - Google™アカウントの設定
 - Google サービス
 - 端末のロック
 - Google アシスタント™
 - Google Pay™でスピードにお支払い
 - その他の設定項目
 - AQUOS Homeの通知アクセス
 - [セットアップを続けますか?]が表示された場合は、[続行]をタッチすると次の項目が表示されます。
- ※1 eSIM/nanoSIMカードの2種類をご使用の場合に表示されます。
- ※2 付属のクイックスイッチアダプター(試供品)を利用して、以前のスマートフォンから簡単にデータを引き継ぐことができます。[次へ]をタッチして画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 画面ロック用PIN/パスワード

本端末の[画面ロック]を使用するための暗証番号です。

■ PINコード

PINコードは、第三者によるeSIM/nanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4~8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたeSIM/nanoSIMカードをお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとeSIM/nanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、eSIMの提供元、nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[セキュリティとプライバシー]▶[その他のセキュリティとプライバシー]▶[SIM ロック]

- eSIM/nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、SIMの名前が表示されたタブをタッチして、設定するSIMを選択してください。

- 2 [SIM をロックする]をONにする

- 3 PINコードを入力▶[OK]

- 日本国内では通話可能なSIMを使用していない場合や、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定はeSIM/nanoSIMカードに保存されます。

PINコードを変更する

[SIM をロック]を設定しているSIMのみ変更できます。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[セキュリティとプライバシー]▶[その他のセキュリティとプライバシー]▶[SIM ロック]

- eSIM/nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、SIMの名前が表示されたタブをタッチして、設定するSIMを選択してください。

- 2 [SIM PINの変更]

- 3 現在のPINコードを入力▶[OK]

- 4 新しいPINコードを入力▶[OK]

- 5 もう一度新しいPINコードを入力▶[OK]

PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

- 2 新しいPINコードを入力

- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

基本操作

基本操作

タッチパネルの操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押しついたり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作*
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乘せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

※ [タッチ感度アップ]がONの場合、手袋を装着したまま使用できます。

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるボタンや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)／狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できません。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。



- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。

■ 主なお知らせアイコン一覧

🔋: 電池残量が約20%以下


📞: 不在着信あり (☎P.33「通話履歴」)

💬: 新着SMSあり


📧: 新着Gmail™あり

: エラー表示

- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

: データ通信が無効

- データ使用量が上限に達した場合に表示されます。

: アラーム情報あり


: カレンダーのスケジュール通知あり


電話表示 (P.28「電話について」)

: 発信中／着信中


: 通話中


: 保留中

: 伝言あり (P.34「電話アシスタント」)

: 本体メモリの空き容量低下

Bluetooth表示 (P.56「Bluetooth®機能」)


: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり


: データ受信要求あり


データ送受信表示


: 送信表示

: 受信表示

: アプリのアップデートあり

: パブリック ネットワークあり

: ソフトウェアアップデート 情報あり (P.65「システムアップデート」)

: [タッチ感度アップ]がON

■ 主なステータスアイコン一覧


～: 電池残量表示

- 通電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます。
- 電池マークの右に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示／非表示はバッテリーの[バッテリー残量]で切り替えられます。

電波状態表示

～: レベル表示(5段階)


: 圏外


- データ受信中は[▼]、データ送信中は[▲]が電波マークに重なって表示されます。
- 接続したネットワークによっては、電波マークの左側に[5G]／[4G]などネットワークに応じたマークが表示される場合があります。
- 音声サービスが利用できない場合は、電波マークの左上にが小さく表示されます。
- 国際ローミング中は、電波マークの左上に[R]が小さく表示されます。
- eSIM／nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、電波状態表示がそれぞれのSIMに対して表示されます。左側がnanoSIMカード、右側がeSIMに関する表示です。

Wi-Fi電波状態表示


～: レベル表示(5段階)


- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中
- データ受信中は[▼]、データ送信中は[▲]がWi-Fi電波マークに重なって表示されます。


: 機内モード中

: [Wi-Fiテザリング]が有効


マナーモードのモード表示

: マナーモード(パイプ)


: マナーモード(ミュート)

- は[パイプレーション モードのときにアイコンを常に表示]をONにすると表示されます
-


: サイレント モード設定中



通話中表示 ( P.32「通話中の操作」)

: ハンズフリー通話中

: ミュートに設定中

: Bluetooth通信中 ( P.56「Bluetooth®機能」)

: 位置情報をGPSで測位中

 / : カメラ/マイク利用表示

- カメラ/マイクの利用開始時に表示されます。カメラ/マイクを利用中は緑色の点で表示されます。
-

ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - AQUOS Home
ホーム画面(デスクトップシート/お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
 - AQUOSかんたんホーム
アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。
 - ウィジェット/ショートカットを配置するホーム画面、ホーム画面右下の[アプリ]をタッチして表示されるアプリ一覧画面で構成されます。
 - ホーム画面でアイコンなどがない部分、または右下の[アプリ]をロングタッチすると、壁紙変更/ウィジェット追加/ホームの設定を行うメニューを利用できます。
 - よく連絡する相手をホーム画面下部の楽ともリンクに登録することができます。
 - AQUOSジュニアホーム
お子さまのご使用に適したシンプルなホームアプリです。
 - ウィジェット/ショートカットを配置するホーム画面、ホーム画面を上からスワイプして表示されるアプリ一覧画面で構成されます。
 - ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチすると、壁紙やアイコン、フォントなどの変更/ウィジェット追加/ホームの設定を行うメニューを利用できます。
 - よく連絡する相手をホーム画面下部の楽ともリンクに登録することができます。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]
▶[ホーム切替]▶ホームアプリを選ぶ

AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート/お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ/機能のショートカット/ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ/機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリやおすすめのアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上をスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 ウィジェット

- 時計エモパーウィジェットでは、日付や時刻、天気と合わせて、コメントが表示されます。タッチするとエモパーを起動できます。

2 デスクトップシート

- 左右フリックするとページを切り替えることができます。

3 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。
フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右フリックするとページを切り替えることができます。

4 ページインジケータ

- デスクトップシートのページ枚数と現在の表示位置を表示します。
※画面をフリックするときのみ表示されます。

5 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

6 アプリ

7 Google 検索バー

- Google™ 検索やGoogle レンズ™を起動できます。

8 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。

9 おすすめアプリ

- 本端末の使用状況などに応じて、おすすめのアプリを表示します。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- 他のアイコンと重なる位置にドラッグすると、フォルダを作成できます。
- ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを[✕(削除)]までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを[🗑️(アンインストール)]までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチしてドラッグすると、画面上部に[ホーム画面に追加]が表示されます。[ホーム画面に追加]までドラッグすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの追加

1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ウィジェット]

2 アプリをタッチ▶ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ

- ホーム画面が表示されます。

3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ▶登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙とカスタマイズ]
 - 2 [壁紙]
 - 3 表示された画像やアプリから設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。
- [ホームフォトシャッフル]をONに設定すると、ホーム画面の壁紙がランダムに切り替わるよう設定できます。

ホーム画面の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[AQUOS Home設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **ホーム画面グリッド**: ホーム画面・アプリ一覧画面に表示するアイコンの数を設定します。
 - **通知ドット**: アプリの通知があるときに、アイコンの右上に通知ドット(点)を表示するかなど、通知について設定します。
 - **通知ドットに件数表示**: 通知ドット(点)に件数を表示するか設定します。
 - **ホーム画面にアプリのアイコンを追加**: 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。
 - **Google アプリの表示**: ホーム画面の一番左のページを右にフリックしたときに、「Google」アプリを表示するか設定します。
 - **おすすめのアプリを表示**: アプリ一覧画面などにおすすめアプリを表示するか設定します。
 - **Google検索の表示**: お気に入りトレイの下にGoogle 検索バーを表示するか設定します。
 - **ホーム画面の回転を許可**: AQUOS Homeを横表示でも利用するか設定します。

電話／連絡帳

電話について

電話や連絡帳を利用したり、通話中や発着信時の動作などについて設定できます。

- 本端末の「電話」アプリは、お使いいただいている中で品質改善や機能の追加などさまざまなアップデートを行うことがあります。アップデートされた場合の変更点や機能について詳しくは、ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]▶[⋮]▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。

電話をかける

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]

- eSIM/nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、[⋮]▶[設定]▶[通話アカウント]▶[発信先]で発信時に使用するSIMを設定できます。

2 [甲]▶電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。



1 新しい連絡先を作成

- 入力した電話番号を連絡帳に新規登録します。

2 連絡先に追加

- 入力した電話番号を連絡帳に追加登録します。

3 メッセージを送信

- 入力した電話番号を宛先にしてSMS(メッセージ)を作成します。

4 メニュー

- 2秒間の停止や待機を追加できます。

5 キーパッド

6 発信

- 電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

7 電話番号入力欄

⑧ 削除

- 最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。電話番号入力欄をタッチしてカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら[●]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質で利用することができます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - ご契約の通信事業者がVoLTEに対応していること*
 - VoLTE対応サービスエリア内であること*
 - 優先ネットワークの種類が[5G(推奨)]/[4G]であること
 - [4G 回線による通話]がONであること※ご契約の通信事業者により、通話相手が同一通信事業者の回線である必要があります。
※VoLTE対応サービスエリア外は、VoLTEを利用できません。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(,)／待機(;)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]▶[●]

2 電話番号を入力▶[⋮]▶[2秒間の停止を追加]

3 送信する番号を入力▶[音声通話]

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]▶[●]

2 電話番号を入力▶[⋮]▶[待機を追加]

3 送信する番号を入力▶[音声通話]

4 通話中に[はい]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)のみ利用できます。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合や、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

電話を受ける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴る
- 2 電話を受ける



1 クイック返信

- タッチすると、着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

2 応答

- 上にスワイプすると、電話を受けます。
- 下にスワイプすると、着信を拒否します。

3 代わりに聞いときます

- タッチすると、応答メッセージを再生して相手の方の音声を伝言として録音します。

4 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

3 通話が終了したら[📞]

- eSIM/nanoSIMカード*の2種類をご使用の場合、着信が経由しているSIMが表示されます。

■ 画面を表示中に電話を受ける

ロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

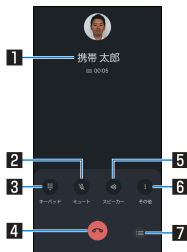
1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答]

- 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 相手の名前や電話番号

2 ミュート

- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

3 キーパッド

- プッシュ信号の入力ができます。

4 終了

- 通話を終了します。

5 スピーカー

- ハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合は音声の出力先を設定します。

6 その他

- タッチすると、次のメニューが表示されます。
 - 保留:通話中の電話を保留にします。もう一度タッチすると、保留を解除します。
 - 通話を追加:通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。通話を追加後に表示される[切り替え]で、通話相手を切り替えることができます。

7 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

- eSIM／nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、通話中の画面に利用しているSIMが表示されます。
- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きいの場所では、音声が届かないなど良好な通話ができないことがあります。
 - 屋外や騒音が大きいの場所、音の反響が大きいの場所で行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- [保留]と[通話を追加]をお使いになる場合、あらかじめご利用の通信事業者との契約が必要となります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。なお、通信事業者によっては、これらの機能を提供していない場合もあります。
- [通話を追加]をタッチして、通話を追加後に表示される[統合]はご利用になれません。

■ 通話音量調節

1 通話中に [(+) / (-)]

■ 電話アシスタントで通話中の音声を録音

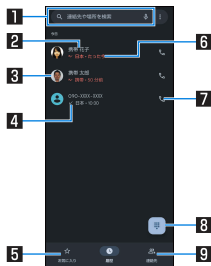
通話中の音声を通話音声メモとして録音します。

1 通話中に [(録音)] ▶ [通話音声メモ]

2 [停止]

通話履歴

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [電話] ▶ [履歴]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。
 - [マイク] をタッチすると、音声検索もできます。

2 相手の名前／電話番号

- タッチすると、連絡帳への登録やSMSの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
- ロングタッチすると、電話番号のコピーや電話番号を編集して発信などができます (P.34「通話履歴の利用」)。

3 連絡帳に登録している画像

- タッチすると連絡帳に登録している内容が表示されます。

4 発信状態アイコン

- 発信: [(発信)]
- 着信／着信の拒否: [(拒否)]
- 不在着信: [(不在)]

5 お気に入り

- タッチするとお気に入りの連絡先を表示します。

6 発信日時

7 発信アイコン

- タッチすると発信します。

8 ダイヤルアイコン

- ダイヤル画面を表示します。

9 連絡先

- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

- eSIM／nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、各履歴に使用したSIMが表示されます。

■ 通話履歴の詳細表示

すべての通話履歴一覧と不在着信の通話履歴一覧を切り替えて確認できます。また、通話履歴をすべて削除できます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]
▶[☰]▶[通話履歴]

2 [すべて]/[不在着信]

- [☰]▶[通話履歴を削除]▶[OK]と操作すると、通話履歴をすべて削除できます。

通話履歴の利用

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]
▶[履歴]

2 履歴(相手の名前/電話番号)をロングタッチ

3 項目を選ぶ

- **電話番号をコピー**: 電話番号をコピーします。
- **発信前に電話番号を編集**: タイヤル画面に電話番号が入力されます。番号を編集して発信などが行えます。
- **ブロックして迷惑電話として報告**: 設定した電話番号からの着信とメッセージを拒否します。また、迷惑電話として報告することもできます。
 - 設定した電話番号は[ブロック中の電話番号]で確認できます。詳しくは、「着信拒否を設定」(P.36)をご参照ください。
- **削除**: 履歴を削除します。

電話アシスタント

伝言、通話音声メモなどの再生や設定ができます。自動応答を設定しておく、電話に出られないときに端末が自動で応答して伝言を預かることができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話アシスタント]

- ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]▶[☰]▶[設定]▶[通話アカウント]▶[電話アシスタント]と操作しても、電話アシスタントを利用できます。

2 [伝言・出る前確認]/[通話録音・ハイライト]

- 録音リスト画面が表示されます。

電話アシスタントの設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話アシスタント]

- ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]▶[☰]▶[設定]▶[通話アカウント]▶[電話アシスタント]と操作しても、電話アシスタントを利用できます。

2 [設定]

3 項目を選ぶ

- **自動応答**:着信したときに、応答メッセージで応答をして相手の方の音声を録音する機能について設定します。
- **応答メッセージ確認**:自動応答の応答メッセージを確認します。
- **自動応答時間**:自動応答の応答時間について設定します。
- **伝言の要約**:録音した伝言の内容をAIが要約して表示する機能を利用するか設定します。
- **通話のハイライト**:AIが生成した通話のタイムラインを表示して、通話中の話題を確認できます。
- **迷惑電話の対策**:電話の相手を事前に確認したり、通話録音やお知らせで迷惑電話に備えた対策ができます。
- **空き容量確認**:空き容量や残り録音可能件数を確認できます。
- **プライバシーポリシー**:利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

- [電話に出る前確認]を同時に設定している場合、電話帳に登録されていない相手から着信したときは、[電話に出る前確認]の設定を優先します。

[電話アシスタント]について

- [伝言の要約]や[通話のハイライト]は、録音データをもとにAIが作成するため、録音時の周辺雑音や通信環境などさまざまな要因によって、聞き取り内容や要約に事実と異なる内容が表示される場合がございます。このような場合、録音データで内容の確認ができます。

通話設定

留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]

2 [⋮]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- **発信情報 / 迷惑電話**:連絡先を登録していない相手の名前や会社名を表示したり、迷惑電話をブロックしたりできます。
- **ダイヤルアシスト**:渡航先から発信する際、国コードの候補を自動的に追加するか設定します。
- **ブロック中の電話番号**:設定した電話番号からの着信とメッセージを拒否します。ブロック中の電話番号について詳しくはP.36「着信拒否を設定」
- **通話アカウント**:通話アカウントについてはP.36「通話の設定」
- **表示オプション**:「電話」アプリのモードを設定します。
- **クイック返信**:クイック返信に使用する文章を編集します。
- **音とバイブレーション**:着信時の音やバイブレーションなどについて設定します。
- **留守番電話**:留守番電話について設定します。
 - eSIM/nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、設定するSIMを選択してください。
- **発信者番号の通知**:着信時の発信者の名前と電話番号の読み上げについて設定します。
- **ひせるだけでサイレントモード**:本端末の画面を下にして平らな場所に置くことで、着信通知をオフできるようにするか設定します。

■ 通話の設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]

2 [⋮]▶[設定]▶[通話アカウント]

3 項目を選ぶ

- **発信先**: eSIM/nanoSIMカードの2種類をご使用の場合、発信時に使用するSIMを設定します。
- **電話アシスタント**: 伝言、通話音声メモの再生や設定ができます。
- **迷惑電話の対策**: 迷惑電話に備えたさまざまな対策の設定ができます。
- **プレフィックス**: プレフィックスの番号と付与動作の設定を行います。

■ 着信拒否を設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話]

2 [⋮]▶[設定]▶[ブロック中の電話番号]

3 項目を選ぶ

- **不明な発信者**: 非通知設定の着信を拒否するか設定します。
- **番号を追加**: 指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。タッチすると、着信を拒否する番号を登録できます。
 - ・登録済みの番号の[✕]▶[ブロックを解除]と操作すると、登録済みの番号を解除できます。

連絡帳

連絡先の管理やプロフィールの確認を行うことができます。

連絡帳の登録

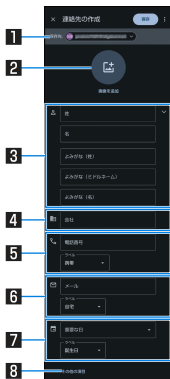
1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[連絡帳]▶[連絡先]

2 [⊕]

- 連絡先についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アカウントを設定している場合、アカウントに登録されません。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。
- 各項目を設定すると、[✕]が表示されます。[✕]をタッチすると削除できます。



1 保存先

- 登録するアカウントを設定します。
- 複数のアカウントを設定している場合は、タッチして登録するアカウントを選択してください。

2 画像を追加

- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

3 名前

- [▽]をタッチすると、敬称やミドルネームを登録できます。

4 会社

5 電話番号

6 メールアドレス

7 重要な日

- 誕生日などの情報を登録できます。

8 その他の項目

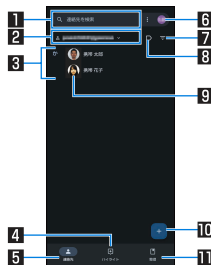
- 住所などの情報を登録します。

4 [保存]

連絡帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[連絡帳]▶[連絡先]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。

2 アカウント

- 連絡先を表示しているアカウントです。

③ 登録されている連絡先

④ ハイライト

- お気に入りに追加した連絡先や最近使用したアイテムが表示されます。

⑤ 連絡先

- 登録されている連絡先を表示します。

⑥ アカウント設定

- 連絡帳で利用するアカウントについて設定できます。

⑦ 絞り込み機能

- 電話番号やメールアドレスが登録されている連絡先のみ表示したり、登録されている会社情報から連絡先を絞り込んで表示します。

⑧ ラベル

- 新しいラベルの追加や登録されているラベルから絞り込んで表示します。

⑨ 画像

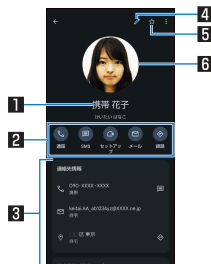
⑩ 新規作成アイコン

⑪ 整理

- 連絡先のインポート／エクスポートや着信拒否の設定、「連絡帳」アプリの設定などを行うことができます。
 - 着信拒否の詳細についてはP.36「着信拒否を設定」

2 連絡先を選ぶ

3 登録情報を確認／利用する



① 名前

② アクションアイコン

- 登録情報に応じた機能を利用できます。

③ 登録内容

- 登録内容を確認／利用できます。

④ 連絡先を編集

⑤ お気に入りに追加／削除

⑥ 画像

■ 連絡先の設定

連絡先の削除や共有、ショートカットの作成、着信音の設定などができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[連絡帳]▶[連絡先]

2 連絡先を選ぶ

3 [⋮]▶機能を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

連絡帳を設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[連絡帳]▶[整理]

2 [設定]

3 項目を選ぶ

- **Google コンタクトの同期設定**: 連絡先のバックアップと同期について設定します。
- **自分の情報**: お客様の情報を入力します。
- **アカウント**: アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
- **モード**: 連絡帳のモードを設定します。
- **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録するアカウントを設定します。
- **よみがな**: 連絡帳の登録／編集時のよみがな欄について設定します。

- **変更を元に戻す**: 連絡先の登録内容を、指定した時点の状態に戻します。

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数についてはP.68「主な仕様」

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、自動終了します。

- 電池残量が少ないときは、動画を撮影できません。また、動画の撮影中に電池残量が少なくなったときは、自動的に撮影を終了します。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
 - [省エネファインダー]がONの場合、撮影画面で一定時間何も操作しないと自動的に待機画面になります。省エネファインダーについては「P.50」静止画撮影/動画撮影の共通設定」

■ カメラの撮影サイズ

設定できる撮影サイズは次のとおりです。

- 撮影モードなどによっては、設定できる撮影サイズが制限されます。

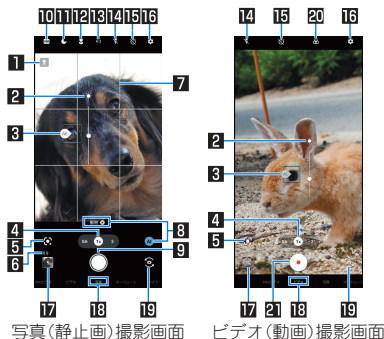
静止画撮影

標準カメラ/ 広角カメラ/ 望遠カメラ	16:9	9.4M
	4:3	50.3M、12.6M
	1:1	9.4M
インカメラ	16:9	9.4M
	4:3	50.3M、12.6M
	1:1	9.4M

動画撮影

標準カメラ/ 広角カメラ/ 望遠カメラ	16:9	4K、フルHD
	4:3	1.6M
	1:1	1.2M
インカメラ	16:9	4K、フルHD
	4:3	1.6M
	1:1	1.2M


撮影画面の見かた



写真(静画)撮影画面

ビデオ(動画)撮影画面



1 本端末固定表示

- 本端末を固定しているときに表示されます。[, 本端末固定表示アイコン]が表示されているときに夜景を撮影すると、よりきれいに撮影することができます。

2 明るさ調整バー

- 画面をタッチまたはシャッターキーを半押しすると一定時間表示されます。調整バーを上下にスライドして、明るさを調整することができます。

3 フォーカスマーク

- 被写体をタッチすると一定時間表示され、フォーカスが合っているときは青色になります。[追尾フォーカス]がONに設定されているときは被写体を追尾し、フォーカスマーク以外をタッチすると非表示になります。
 - シャッターキーを半押ししても、フォーカスマークを表示できません。
 - [, AEアイコン]が表示されている場合は、[, AEアイコン]をドラッグした箇所に合わせて露出を自動で調整できます。
- 被写体をロングタッチすると、フォーカスや露出をロックできます。フォーカスマーク以外をタッチすると、ロックは解除されます。
- 撮影モードによっては、認識した被写体の顔などに合わせて自動で表示されます。

4 ズーム倍率

- 数字をタッチすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
- 白丸をタッチすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタッチしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
 - 撮影画面をピンチアウト/ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。
- ズーム倍率に合わせて、広角カメラ/標準カメラ/望遠カメラが自動で切り替わります。

5 Google レンズ

- タッチすると、Google レンズを起動します。詳しくは、初回起動時に表示される内容をご確認ください。

6 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

7 ガイド線

- [ガイド線]を設定している場合に表示されます(☞P.48「静止画撮影の設定」)。

8 被写体認識機能

- 撮影モードを[写真]に設定している場合に表示されます。アイコンをタッチすると、機能の有効([AI])／無効([X])を切り替えることができます。
- 機能が有効([AI])の場合、シーンや被写体の認識結果が表示され、最適な画質やシャッタースピードで撮影します。
 - [(X)]をタッチすると、認識結果を解除することができます。
 - 黒板／白板を認識した状態で撮影した場合は、確認画面が表示されます。[補正する]をタッチすると、正面から見たような写真へ補正します。

9 写真(静止画)撮影

- 静止画を撮影します。

10 HDR

- HDR機能が動作中に青色で表示されます。アイコンをタッチすると、[オートHDR]のON/OFFを切り替えることができます。

11 ナイト

- ナイト機能が動作中に青色で表示されます。アイコンをタッチすると、[オートナイト]のON/OFFを切り替えることができます。

12 マクロ

- マクロ機能が動作中に青色で表示されます。アイコンをタッチすると、[オートマクロ]のON/OFFを切り替えることができます。

13 写真サイズ

- タッチすると静止画の撮影サイズを切り替えることができます。

14 フラッシュ

- タッチするとモバイルライトが撮影時に点灯する設定を変更できます。静止画撮影時には撮影の瞬間に点灯するように設定することもできます。インカメラで撮影時はフラッシュとして画面全体が発光します。

15 セルフタイマー

- [セルフタイマー表示]をONに設定していると表示されます(☞P.50「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。タッチするとセルフタイマーの時間設定を変更できます。

16 設定

- カメラの設定については☞P.48「カメラの設定」

17 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「フォト」アプリのショートカットを表示します。AIライブストーリーで撮影された動画には[AI]が重なって表示されます。

18 撮影モード

- 左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。
 - 撮影画面を左右にフリックしても、撮影モードを切り替えることができます。

19 インカメラ／アウトカメラ切替

- 撮影画面を上下にフリックしても、インカメラとアウトカメラを切り替えることができます。

20 色調

- アイコンをタッチすると、撮影する動画の色調を切り替えることができます。

21 ビデオ(動画)撮影開始

- 動画を撮影します。

フォーカスマークについて

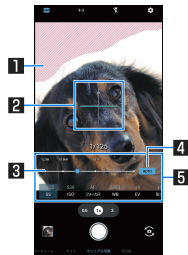
- カメラのフォーカスは、主に被写体の色をもとに対象を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

ズーム倍率について

- 撮影モードによっては、使用できるズーム倍率が制限されません。

■ 撮影画面(マニュアル)

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



写真(静止画)撮影画面

1 白とび・黒つぶれ表示

- 白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示します。

2 水準器

- 撮影画面の傾きを確認できます。

3 調整バー

- 各設定をタッチすると表示され、ドラッグすると設定を手動で調整できます。

4 自動調整アイコン

- 各設定をタッチすると表示され、調整の[AUTO]/[MANUAL]を切り替えることができます。
 - [MANUAL]に切り替えた設定には、[M]が表示されます。[フォーカス]の場合は、[AF]から[MF]に表示が変わります。

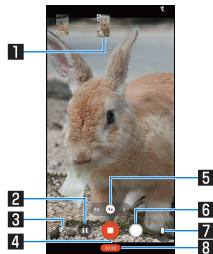
5 撮影設定表示エリア

- 表示されるシャッター速度やISO感度、ホワイトバランスなどの各設定をタッチすると、設定を手動で調整できます。
 - 利用するカメラや撮影モードによって、表示される設定は異なります。
 - 隠れている設定がある場合は、左右にスライドすると表示する設定を切り替えることができます。

ISO感度について

- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ ビデオ(動画)撮影中画面



1 撮影された静止画

- 動画撮影中に静止画を撮影すると表示されます。
- AIライブシャッターが自動で撮影した場合は、[AI]と表示されます。

2 ビデオ(動画)撮影一時停止

3 ショートムービーの作成確定

- ショートムービーの作成が確定すると表示され、点滅します。

4 ビデオ(動画)撮影停止

5 ズーム倍率

- 数字をタッチすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
- 白丸をタッチすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタッチしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
 - 撮影中画面をピンチアウト／ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。

6 写真(静止画)撮影










7 電池残量






8 撮影時間

■ 撮影モードの切替







1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

- **PROビデオ**: 近くの被写体にピントを合わせて背景をぼかした動画の撮影や、夜景を撮影するのに適した設定での動画撮影などをします。また、撮影設定を手動で調整して動画を撮影することもできます。[ (マニュアルビデオ)] / [ (ナイトビデオ)] / [ (シネマティック)] / [ (Dolby Vision®)] をタッチして、モードを切り替えてください。
 - [ (ナイトビデオ)] / [ (シネマティック)] / [ (Dolby Vision)] に切り替えた場合、インカメラで撮影することはできません。
 - Dolby Vision対応コンテンツとして動画を編集するためには、「Dolby Vision対応コンテンツの編集」(P.52)をご参照ください。
- **ビデオ**: 通常の動画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
- **写真**: 通常の静止画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
- **ポートレート**: 人物やペットが際立つ静止画を撮影します。アウトカメラを利用中は、[ (人物モード)] / [ (ペットモード)] をタッチして、モードを切り替えることができます。背景をぼかした静止画の撮影や、人物モードでは被写体の顔の補正を、またペットモードでは毛並みをお好みの雰囲気調整することもできます。

- **ナイト**:夜景を撮影するのに適した撮影モードです。アウトカメラを利用中は、[] (オートモード) / [] (花火モード) / [] (星空モード) をタッチして、モードを切り替えることができます。
 - 撮影中は本端末が動かないように固定して [] が表示されているときに撮影することで、よりきれいな夜景を撮影することができます。撮影環境によっては、撮影に数秒かかる場合があります。特に星空モードは撮影に時間がかかるため、三脚などで本端末を固定して撮影することをおすすめします。
- **マニュアル写真**:静止画を撮影します。撮影設定を手動で調整することができます。
- **ハイレゾ**:8Kサイズの高解像度な静止画を撮影します。
 - 明るいシーンの撮影をおすすめします。
- **タイムラプス**:時間の流れを早回して、時間を凝縮した動画を撮影します。
 - [] をタッチすると、録画の開始/終了時刻や撮影間隔を設定できます。
- **スロービデオ**:スローモーションの動画を撮影します。
 - 撮影した動画は、「フォト」アプリで確認することができます。
- 表示されていない撮影モードは、[その他]に切り替えると表示されます。

静止画の撮影

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]
- 2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]/[マニュアル写真]に切り替える
- 3 本端末のアウトカメラを被写体に向ける
 - 撮影画面の操作についてはP.42「撮影画面の見かた」
 - [QRコード・バーコード認識]がONの場合は、アウトカメラでQRコード・バーコードを検出できます。
- 4 [] / シャッターキー
 - [] を下にスライドすると、静止画を連写撮影することができます。
 - [] をロングタッチすると動画の撮影を開始し、指を離すと終了します。
 - 動画の撮影中に [] から [] までスワイプすると、指を離しても動画の撮影が継続されます。撮影を終了するとき、 [] をタッチしてください。

動画の撮影

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]
- 2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える
- 3 本端末のアウトカメラを被写体に向ける
 - 撮影画面の操作についてはP.42「撮影画面の見かた」
- 4 [●] / シャッターキー
 - [●] をタッチすると、動画の撮影を一時停止できます。撮影を再開する場合は [●] をタッチします。
 - [○] をタッチすると、静止画の撮影ができます。
- 5 [●] / シャッターキー

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによっては、機能が非表示またはグレーアウトされて利用できない場合があります。

■ 静止画撮影の設定

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]
- 2 [●]
- 3 [写真]

4 項目を選ぶ

- **写真サイズ**: 静止画の撮影サイズを切り替えます。
- **RAW保存(マニュアル写真)**: 撮影モードを[マニュアル写真]に設定している場合に、撮影した静止画をRAWでも保存するか設定します。
- **セルフイー反転**: インカメラで撮影した静止画を左右反転せずに保存するか設定します。
- **ウォーターマーク**: 静止画にAQUOSロゴや日時などのウォーターマークを入れるか設定します。
- **フローティングシャッター**: 撮影画面に位置を変更できるフローティングシャッターボタンを追加するか設定します。
 - フローティングシャッターボタンを [●] までドラッグすると非表示にできます。再表示する場合は、[○] を配置したい位置までドラッグします。
 - フローティングシャッターボタンを下にスライドしても、連写撮影はできません。
- **オートHDR**: 逆光などコントラストが強いシーンで、白とびや黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするか設定します。
- **オートナイト**: 暗いシーンを自動的に認識して、静止画を明るく撮影するか設定します。
- **オートマクロ**: 被写体に近づいたときに、自動的にマクロ撮影に切り替えるか設定します。
- **インテリジェントフレーミング**: 静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行います。
 - 補正が必要ない場合は、機能は動作しません。
 - 補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。

- **ガイド線**:撮影画面にガイド線を表示できます。
- **画質切替**:撮影する静止画の画質を切り替えます。
- **ヒストグラム表示**:ヒストグラムを表示して、明るさの分布を確認できるようにするか設定します。
- **白とび・黒つぶれ表示**:撮影モードを[マニュアル写真]に設定している場合に、白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するか設定します。
- **料理の影を消す**:料理を撮影するときに料理に重なった影を除去するか設定します。
- **マルチフォーカス表示**:撮影中に複数の小さなフォーカスマークを表示して、フォーカスが合っている箇所を細かく確認できるようにするか設定します。
 - ズーム倍率によってはフォーカスマークは一つになる場合があります。
- **追尾フォーカス**:タッチしてフォーカスを合わせた被写体を追尾するか設定します。
- **顔・瞳フォーカス**:人物の顔や瞳を自動的に認識して、フォーカスを合わせる機能について設定します。
- **フォーカスモード**:フォーカスを合わせるタイミングを設定します。
- **料理ぼかし調整**:料理を撮影するときのぼかしを適切に軽減するか設定します。
 - HDRは適用されません。
- **QRコード・バーコード認識**:QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するか設定します。QRコード・バーコードの検出方法についてはP.47「静止画の撮影」

■ 動画撮影の設定

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]
- 2 [📷]
- 3 [動画]
- 4 項目を選ぶ
 - **動画サイズ**:動画の撮影サイズを切り替えます。
 - **フレームレート**:フレームレートを切り替えます。
 - **画質とデータ量**:動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
 - **手ブレ補正**:手ぶれを補正するか設定します。
 - **オートHDR**:逆光などコントラストが強いシーンで、白とびや黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするか設定します。
 - **音声の録音**:音声を録音するか設定します。
 - **風切り音低減**:風切り音を低減するか設定します。
 - **顔フォーカス**:人物の顔を自動的に認識して、フォーカスを合わせる機能について設定します。
 - **AIライブストーリー**:撮影した長時間の動画から、カット数や変化量を増やし、エフェクトやテーマ曲を付けたショートムービーをAIが自動作成します。
 - ONにしている場合、撮影した動画とは別にショートムービーが保存されます。
 - **AIライブシャッター**:ONにすると、動画撮影中にAIが人物や動物などを認識したり、構図を判断して、自動で静止画を撮影します。




■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]

2 [設定]

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- **フラッシュ表示**:フラッシュアイコンを撮影画面の上部に表示するか設定します。
- **セルフタイマー表示**:セルフタイマーアイコンを撮影画面の上部に表示するか設定します。
- **位置情報付加**:位置情報を付加するか設定します。
- **音量キー操作**:(+)による「カメラ」アプリの操作について設定します。
- **シャッターキーで起動**:シャッターキーによる「カメラ」アプリの起動を設定します。
- **手のひらで撮影**:カメラに手のひらを向けることで、セルフタイマーによる撮影のカウントダウンを開始できるようにするか設定します。
- **おすすめモードを表示**:認識したシーンや被写体におすすめの撮影設定がある場合、撮影設定の切り替えアイコンを撮影画面に表示するか設定します。
- **すばやく起動**: (電源キー)を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。
- **カメラスタンバイ**:「カメラ」アプリの起動中に画面が消灯した場合、次に画面を点灯したときにロック画面ではなく「カメラ」アプリの画面を表示するか設定します。

- **省エネファインダー**:撮影画面で一定時間何も操作しないと、自動的に待機画面になります。待機画面をタッチすると、再度撮影画面が表示されます。
- **カメラモード保持**:ONにすると、「カメラ」アプリを前回利用していた撮影モードで起動します。OFFのときは、[写真]で起動します。
- **撮影画面の明るさを上げる**:「カメラ」アプリ起動中の画面の明るさをさらに明るくするか設定します。
- **ちらつき防止(縞模様を軽減)**:有効にすると、蛍光灯などによるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。[OFF]に設定した場合は、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
 - [オート]に設定してもちらつきが補正されない場合は、お使いの地域(東日本:50Hz、西日本:60Hz)に応じて周波数を設定してください。
- **水準器表示**:撮影モードを[マニュアル写真]に設定している場合に、水準器を表示するか設定します。
- **シャッター音**:シャッター音が鳴らないようにするか設定します。
- **設定リセット**:「カメラ」アプリの設定をリセットします。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[フォト]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動: データをロングタッチ▶[削除]▶[ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- Dolby Visionに対応した動画を再生すると、ステータスパネルの通知詳細情報に表示モードの設定が表示されます。お好みの表示モードを選択ください。
- Dolby Vision対応コンテンツとして動画を編集するためには、「Dolby Vision対応コンテンツの編集」(P.52)をご参照ください。
- 「フォト」アプリはPlay ストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本端末からは削除されていません。ゴミ箱を空にするか、またはゴミ箱に移動してから一定期間後に本端末から削除されます。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[コレクション]▶[ゴミ箱]

2 [⋮]▶[ゴミ箱を空にする]▶[完全に削除]

Dolby Vision対応コンテンツの編集

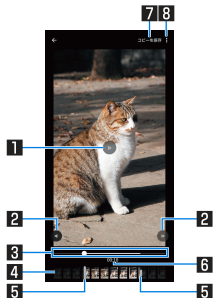
Dolby Vision対応コンテンツを動画切り出しやDolby Vision対応コンテンツ以外の規格に変換して保存することができます。

1 フォト画面で動画を選ぶ

- 動画が再生されます。

2 再生中の動画をタッチ

3 [Dolby Vision] ▶ [動画を編集] ▶ [動画切り出し]



1 再生／一時停止

2 コマ戻し／コマ送り

- 切り出し位置をタッチすると表示されます。
- 1コマ前／先のフレームを表示します。

3 シークバー

- シークバーをドラッグすると表示するフレームを変更できます。

4 サムネイル

5 切り出し位置

- 左右の切り出し位置をドラッグすると切り出し範囲を変更できます。

6 切り出した動画の再生時間

7 コピーを保存

- タッチすると動画の切り出しが行われ、指定した切り出し範囲を新しい動画として保存します。

8 その他のオプション

- オープンソースライセンスを確認できます。

- [動画を編集] ▶ [AVCに変換]と操作すると、動画をAVC変換できます。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]と操作して表示されるメニューから、本端末の各種設定を行うことができます。

- 本体設定を表示中に「設定を検索」欄をタッチ▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なります。

電話番号	eSIM/nanoSIMカードに登録されているお客様の電話番号を確認できます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイルネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続設定	Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。
音とバイブレーション	メディアの再生音や通話、通知など音についての設定やバイブレーションの動作について設定します。
通知	通知について設定します。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
壁紙とカスタマイズ	壁紙や色調、フォントなどロック画面、ホーム画面の表示について設定します。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
AQUOSトリック	本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

セキュリティとプライバシー	画面ロックやアプリに許可する権限などセキュリティとプライバシーについて設定します。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
安全性と緊急情報	緊急情報や緊急 SOS、緊急速報「エリアメール」などについて設定します。
パスワードとアカウント	アカウントの追加や設定、データの同期、アカウントに保存したパスワードなどについて設定します。
Digital Wellbeing	本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインと保護者による使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
バッテリー	電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などを行います。
ストレージ	本体メモリやUSBメモリの使用容量/合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
アプリ	アプリについて設定します。
デバイス情報	デバイス情報の確認ができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

デバイス情報

デバイス情報の確認ができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定] ▶[デバイス情報]

2 項目を選ぶ

- **デバイス名**: デバイス名を変更できます。
- **電話番号(SIM スロット 1) / 電話番号(SIMスロット 2)**: 電話番号を確認できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **規制ラベル**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **SIM ステータス(SIM スロット 1) / SIM ステータス(SIM スロット 2)**: SIMの情報を確認できます。
- **モデル**: モデル名やシリアル番号などを確認できます。
- **EID**: EIDを確認できます。
 - eSIMをご使用の場合は、[EID(SIM スロット 2)]と表示されます。
- **IMEI(SIM スロット 1)(メイン) / IMEI(SIM スロット 2)**: IMEI情報を確認できます。
- **Android バージョン**: Android バージョンなどを確認できます。
- **AQUOS UX バージョン**: AQUOS UXのバージョンを確認できます。
- **製品情報**: 製品情報を確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MAC アドレス**: Wi-Fi MACアドレスを確認できます。

- **デバイスの Wi-Fi MAC アドレス**: デバイスのWi-Fi MACアドレスを確認できます。
- **Bluetoothアドレス**: Bluetoothアドレスを確認できます。
- **稼働時間**: 端末の稼働時間を確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定] ▶[お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **使いこなしガイド**: シャープのサイトに接続し、本端末を使いこなすための各種情報やコンテンツを確認できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。セルフチェックの詳細についてはP.55「セルフチェック」
- **電源メニュー**: 電源メニューを表示します。

■ セルフチェック

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定] ▶[セルフチェック]

- セーフモードで再起動:[:]▶[セーフモードで再起動]▶[OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ]／[診断したい箇所を選ぶ]

- [ストレージを確保する]をタッチすると、アプリが一時的に使用しているキャッシュを削除して、空き容量を確保します。
- [よくあるご質問]をタッチすると、シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止:[スキップ]▶[診断中止]
- 診断項目のスキップ:[スキップ]▶[スキップ]

7 [診断を終了する]

- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

データ通信

Bluetooth[®]機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力についてはP.68「主な仕様」

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。

- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 電車内
 - 航空機内
 - 病院内
 - 自動ドアや火災報知機から近い場所
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n/ax/be)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaおよびNFCリーダー/ライター機能が本端末でご利用いただけます。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- システムをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはシステムをアップデートしてください(☞P.65「システム アップデート」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(☞P.55「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」にご相談ください。

■ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れになっていませんか。(☞P.14「充電」)
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ● \square(電源キー) + \square(+)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● パイプレータが動作したあとに指を離すと、電源が切れます。 ● 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェック項目
充電ができない	<ul style="list-style-type: none">ACアダプター(別売)の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。ACアダプターと本端末が正しくセットされていますか。☞P.15「ACアダプターで充電」ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。☞P.15「ACアダプターで充電」パソコンとUSB Type-Cケーブル(市販品)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。ワイヤレスチャージャー(市販品)をご使用の場合、本端末のワイヤレス充電位置とワイヤレスチャージャーの位置を正しく合わせていますか。ワイヤレス充電位置については付属のクイックスタートガイドをご確認ください。本端末にカバー(市販品)などを取り付けている場合は取り外してください。また、本端末とワイヤレスチャージャーの間に金属などの異物が挟まっている場合は取り除いたうえで、充電位置を正しく合わせて置き直してください。☞P.16「ワイヤレス充電時のご注意」

症状	チェック項目
充電ができない	<ul style="list-style-type: none">充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。☞P.14「充電時のご注意」インテリジェントチャージの[最大充電量を変更]や[画面消灯中のみ充電]をONに設定していませんか。

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none">操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプターが温かくなることがあります。動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.14「充電時のご注意」

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> 圏外の状態が長時間放置されるようなことはありません。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞P.16「電源を切る」 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.68「主な仕様」 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。☞P.67「保証とアフターサービス」 使用していないアプリは終了してください。 使用していない無線機能はOFFにしてください。 長エネスイッチを利用すると、電池の消費を抑えることができます。
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 端末の電源が切れていませんか。☞P.16「電源を入れる」
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本端末に大量のデータが保存されているときなどに起きる場合があります。

症状	チェック項目
nanoSIMカードが認識しない	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞P.12「SIMについて」
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日時を自動的に設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード*で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。 アプリの動作に必要な権限を設定していますか。 アプリのバッテリー使用量を[制限]に設定していませんか。

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

- セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でロック画面が表示されるまで[←]を押し続けてください。

※電源を入れた状態で[電源キー]+[+]▶[電源を切る]/[再起動]をロングタッチ▶[OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができます。

また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。P.55「セルフチェック」

※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。

※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ウィジェットによっては消去される場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 通話

症状	チェック項目
発信ができない 着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none">機内モード*を設定していませんか。着信音と通知の音量を最小に設定していませんか。機内モード、マナーモードを設定していませんか。着信拒否を設定していませんか。 P.36「着信拒否を設定」
通話ができない (場所を移動しても[4]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	<ul style="list-style-type: none">nanoSIMカードを入れ直すか、電源を入れ直してください。P.12「SIMについて」、P.16「電源を入れる/切る」eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定についてはP.14「eSIMのSIM情報を設定する」電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[4]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。着信拒否など着信制限を設定していませんか。P.36「着信拒否を設定」電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">画面の点灯時間を短く設定していませんか。画面の明るさを変更していませんか。[明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。[長エネスイッチの使用]をONに設定していませんか。

■ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none">通話音量を変更していませんか。 ☞P.33「通話音量調節」

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none">パスワードとアカウントの設定でGmailが自動的に同期しないように設定していませんか。


■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none">カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.40「カメラをご利用になる前に」
モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる	<ul style="list-style-type: none">カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与えます。

■ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	<ul style="list-style-type: none">[画面ロック中はロック]を設定していませんか。本端末の🌀マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。🌀マークの位置は付属のクイックスタートをご確認ください。

■ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない([)が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> • eSIMの提供元、nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。 • [優先ネットワークの種類]を変更してみてください。 • [ネットワークを自動的に選択]をONにしてください。 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。P.16「電源を入れる／切る」
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> • [ローミング]をONにしてください。 • ご利用の通信事業者がサービスを提供しているかご確認ください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none"> • USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。 • 「USBの接続用途」を正しく設定していますか。
画像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

■ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。P.16「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
SIMがありません -通信サービスはありません	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。P.12「SIMについて」 eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定についてはP.14「eSIMのSIM情報を設定する」
xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。
空き容量わずか	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
応答が無いため接続が中断されました	<ul style="list-style-type: none"> メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。
サーバーエラー 送信できませんでした	
接続エラー 送信できませんでした	
送信先サーバーが対応していません	
通信エラー しばらくたってから送り直してください	
しばらくお待ちください(音声サービス)	<ul style="list-style-type: none"> 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
しばらくお待ちください(データサービス)	<ul style="list-style-type: none"> パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
指紋を認識できません	<ul style="list-style-type: none"> 指紋の読み取りに失敗した場合には表示されます。
センサーにしっかりと押し当ててください	
毎回、指を置く位置を少し変えてください	
モバイルネットワークが利用できません。	<ul style="list-style-type: none"> 有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。

システム アップデート

SH-M30のシステム アップデートが必要なかをネットワークに接続して確認し、必要に応じてアップデートファイルをダウンロードして、システムをアップデートする機能です。

- システム アップデートが必要な場合は、端末上あるいはシャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。
- システム アップデートは、本端末に登録した連絡帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- システム アップデートには大量のパケット通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用してアップデートすることをおすすめします。

ご利用にあたって

- システム アップデートに必要な電池残量がないときはシステムをアップデートできません。システム アップデートを行う際は、電池をフル充電しておいてください。アップデート時は充電しながら操作することをおすすめします。
- システム アップデート（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- システム アップデート中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- システム アップデートは電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、システム アップデートを中断することがあります。
- システム アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- システム アップデートの際、お客様のSH-M30固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のシステム アップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、システム アップデート以外の目的には利用いたしません。
- システム アップデートに失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- システム アップデート中は、他のアプリを起動しないでください。

システムのアップデート

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[システム]▶[システム アップデート]

- システム アップデートが必要な場合は、システム アップデート用データをダウンロードすることができます。以降は画面の指示に従って操作してください。
 - ステータスバーに[回]が表示されている場合は、ステータスパネルからシステム アップデートを利用することができます。
- システム アップデートの必要がないときには、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。
 - アップデート中は、すべてのキー操作が無効となります。アップデートを中止することもできません。
 - システム アップデートに失敗したときや中止されたときは、システム アップデートを実行し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については、付属のクイックスタートに記載の「保証について」をご確認ください。

- お買い上げ年月日をご確認ください。
付属のクイックスタートに記載の「保証について」の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
お買い上げの日から1年間です(ただし電池、消耗部品は除きます)。
保証期間中でも有料になることがありますので、付属のクイックスタートに記載の「保証について」の記載内容をよくお読みください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な連絡帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

■ 補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
それでも異常があるときは、使用を止めて、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

ご要望により有料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などを純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、付属のクイックスタートに記載の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

■ 主な仕様

■ 本体

サイズ	高さ:約162mm、幅:約78mm、厚さ:約9.3mm	
重量	約229g	
ディスプレイ	サイズ	約6.7インチ
	種類	Pro IGZO OLED有機EL
	解像度	Quad HD+(1440×3120)
OS	Android 14	
内蔵メモリ※1	RAM 12GB/ROM 512GB	
バッテリー容量	5000mAh	
連続待受時間(静止時)※2	LTE	約600時間
連続通話時間※2	VoLTE	約50時間
充電時間	ACアダプター(SH-AC05)(別売):約140分	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax/be準拠(IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz/5GHz、IEEE802.11ax/be対応周波数帯:2.4GHz/5GHz/6GHz)

Bluetooth※3	バージョン	5.4
	対応プロファイル※4	HSP、HFP、A2DP、AVRCP、HID、OPP、SPP、PBAP、PAN (PAN-NAP)、PAN (PANU)、HOGP
カメラ	有効画素数	標準カメラ:約5030万画素 広角カメラ:約5030万画素 望遠カメラ:約5030万画素 インカメラ:約5030万画素

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。
- ※2 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、電波を正常に送受信できる静止状態での目安です。
データ通信などによって、通話(通信)・待受時間は、短くなります。電池の充電状態や使用環境、利用場所の電波状態などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になる場合があります。
- ※3 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
- ※4 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

■ クイックスイッチアダプター

サイズ	高さ:約32mm、幅:約15mm、厚さ:約7.2mm
重量	約4.6g

携帯電話機の電波防護への適合性について

この機種SH-M30の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)や米国電気電子学会(IEEE)電磁界安全に係る国際委員会(ICES)が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate、6 GHz以下の周波数の場合)および電力密度(PD: Power Density、6 GHzを超える周波数の場合)で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2 W/kg、2 mW/cm²です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値:0.962(※2)、身体に装着した場合の最大値:0.474(※3)となっています(※4)。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

シャープ株式会社のホームページ

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 この値は同時送信の値です。
- ※3 この値は同時送信の値です。
- ※4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部:SAR 0.938 W/kg、PD 0.986 mW/cm²、身体装着時:SAR 0.440 W/kg、PD 0.507 mW/cm²です。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.72 W/kg* and when worn on the body is 0.87 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe*, there are restrictions on the use of 5/6GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

* Belgium [BE], Bulgaria [BG], Czech Republic [CZ], Denmark [DK], Germany [DE], Estonia [EE], Ireland [IE], Greece [EL], Spain [ES], France [FR], Croatia [HR], Italy [IT], Cyprus [CY], Latvia [LV], Lithuania [LT], Luxembourg [LU], Hungary [HU], Malta [MT], Netherlands [NL], Austria [AT], Poland [PL], Portugal [PT], Romania [RO], Slovenia [SI], Slovakia [SK], Finland [FI], Sweden [SE] and United Kingdom (Northern Ireland) [UK (NI)], Switzerland [CH], Liechtenstein [LI], Iceland [IS], Norway [NO].

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

**Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-M30 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>**

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 7	Tx 2502.5 to 2567.5 MHz Rx 2622.5 to 2687.5 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 20	Tx 834.5 to 859.5 MHz Rx 793.5 to 818.5 MHz
LTE Band 28	Tx 704.5 to 746.5 MHz Rx 759.5 to 801.5 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz
LTE Band 40	Tx 2302.5 to 2397.5 MHz Rx 2302.5 to 2397.5 MHz
n1	Tx 1920 to 1980 MHz Rx 2110 to 2170.0 MHz

n3	Tx 1710 to 1785 MHz Rx 1805 to 1880 MHz
n28	Tx 703.0 to 748.0 MHz Rx 758.0 to 803.0 MHz
n40	Tx/Rx 2300 to 2400 MHz
n78	Tx/Rx 3300 to 3800 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW: 40 MHz)
WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW: 80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW: 80 MHz) W52/W53: Tx/Rx 5250 MHz (BW: 160 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW: 80 MHz) Tx/Rx 5570 MHz (BW: 160 MHz)

WLAN 6 GHz	6L(U-NII 5): Tx/Rx 5955 to 6415 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5965 to 6405 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5985 to 6385 MHz (BW: 80 MHz) Tx/Rx 6025 to 6345 MHz (BW: 160 MHz) Tx/Rx 6105 MHz, 6265 MHz (BW: 320 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
UWB	7.9872 GHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1I (1561.098 MHz) BEIDOU Rx B1C (1575.42 MHz) GPS: Rx L5 (1176.450 MHz) Galileo: Rx E5a (1176.450 MHz) BEIDOU :Rx B2a (1176.450 MHz)

● Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 7	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 20	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 28	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 40	+23 dBm (Power Class3)
n1	+23 dBm (Power Class3)
n3	+23 dBm (Power Class3)
n28	+23 dBm (Power Class3)
n40	+23 dBm (Power Class3)
n78	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+17.0 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+15.0 dBm
WLAN 5 GHz	+14.2 dBm
WLAN 6 GHz	+14.2 dBm
NFC	0 dB μ A/m at 10 m
UWB	-41.3 dBm/MHz

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
 2. Increase the separation between the equipment and receiver.
 3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.
- A. The use of antennas mounted on outdoor structures, e.g., antennas mounted on the outside of a building or on a telephone pole, or any fixed outdoors infrastructure is prohibited. Antennas may be mounted only on the hand held UWB device.
 - B. UWB devices may not be employed for the operation of toys. Operation onboard an aircraft, a ship or a satellite is prohibited.
 - C. This device is approved under Part 15.519 for handheld use only.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.68 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.64 W/kg. For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> on FCC ID APYHRO00333.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Regulatory labels under the Settings menu.

CAUTION

Use only specified AC adapter (sold separately).

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

For details on optional parts, refer to the following website.

https://k-tai.sharp.co.jp/support/other/r9-pro_simfree/index.html

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the handset in ordinary garbage.

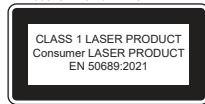
May cause fires, burns, bodily injury, etc. It may also cause damage to the environment. For details on the unnecessary handset, contact the “company or outlet listed on the warranty card” or follow the instructions by a local institution that handles used handsets.

Laser (proximity sensor)

Do not stare into proximity sensor.

May temporarily affect eyesight, leading to accidents.

EN60825-1:2014/A11:2021



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 35% and 85%. (including charging)

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

☞ P.6 “SH-M30が有する防水/防塵性能でできること”

Do not point the mobile light directly at someone's eyes.

Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

May cause eyesight damage. Accident may result from being dazzled or shocked.

■ Bluetooth function

- Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。


知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Direct®、Miracast®、Wi-Fi Protected Access® (WPA)はWi-Fi Alliance®の登録商標です。WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- iPhone、iMessage、FaceTime、iTunesは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

- 本製品には株式会社モリサフの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサフの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- Snapdragon Elite Gaming™ is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Snapdragon and Snapdragon Elite Gaming are trademarks or registered trademarks of Qualcomm Incorporated.



- Snapdragon Sound™ is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Snapdragon and Snapdragon Sound are trademarks or registered trademarks of Qualcomm Incorporated.
- LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の商標です。

LDAC

- 本製品の音声合成ソフトウェアには、HOYA株式会社 MD部門 ReadSpeaker SBUの「ReadSpeaker」を使用しています。「ReadSpeaker」は、ReadSpeaker B. V. の商標です。
- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、フェアリーデバイズ株式会社のmimi® powered by NICTを使用しています。
- mimi®はフェアリーデバイズ株式会社の登録商標です。

- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Dolby®,ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権 2012-2024 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- Google, Google ロゴ, Android, Google Home, Google Home ロゴ, Google Pay, Google Play, Google Play ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google カレンダー™, Google カレンダー ロゴ, Google マップ™, Google マップ ロゴ, Google Chrome™, Google Chrome ロゴ, Chromebook, Google 音声検索™, Google 音声検索 ロゴ, YouTube, YouTube ロゴ, YouTube Music ロゴ, Google ドライブ, Google ドライブ ロゴ, Google 検索, Google 検索 ロゴ, Google レンズ, Google レンズ ロゴ, Google フォト™, Google フォト ロゴ, Google アシスタント, Google アシスタント ロゴ, Google TV™, Google TV ロゴ, Google One, Google One ロゴ, Google ニュース, Google ニュース ロゴ, Fitbit™, Fitbit ロゴ, Google Meet™, Google Meet ロゴ, Android Auto, Gemini, Gemini ロゴは、Google LLC の商標です。

- 「AQUOS/アクオス」、「AQUOS Home」、「AQUOSかんたんホーム」、「AQUOSジュニアホーム/AQUOS Junior Home」、「My AQUOS」、「AQUOSトリック」、「Bright Keep」、「あとからキャプチャー」、「インテリジェントフレーミング」、「オートナイト/Auto night」、「AIライブシャッター」、「AIライブストーリー」、「エモパー/emopa」、「エモパーメモ」、「エモパーヘルスクエア」、「エモパーク/emopark」、「バーチャルHDR」、「クリップナウ/Clip Now」、「ロックフォトシャッフル」、「長エネスイッチ」、「リッチカラーテクノロジーモバイル/Rich color technology Mobile」、「リラックスビュー/Relax View」、「なめらかハイスピード表示」、「はっきりビュー」、「アウトドアビュー」、「からだめイト」、「楽ともリンク」、「Payトリガー」、「インテリジェントチャージ」、「AQUOS」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。



- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
 - Windows 11は、Microsoft® Windows® 11(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[デバイス情報]▶[法的情報]▶[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<https://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>



やめましょう、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



あぶない!
電池への衝撃

製造元:シャープ株式会社